

かまし

No.4

平成 19年(2007) 5月 1日

Gikaidayori Kamashi

19年度予算可決
約430億円 P2

19年度予算の審査報告 P4

議員64人最後の定例会 P5

各常任委員会の審査報告 P6

サルビアパーク用途不明金の再調査求める P9

議案の結果一覧 P10

いっぱん質問 P11

議長、広報委員長あいさつ P23



宮野小学校入学式(嘉穂地区)

19年度予算を賛成多数で可決

総額

429億8119万8千円

(前年度比1億1949万2千円減額)

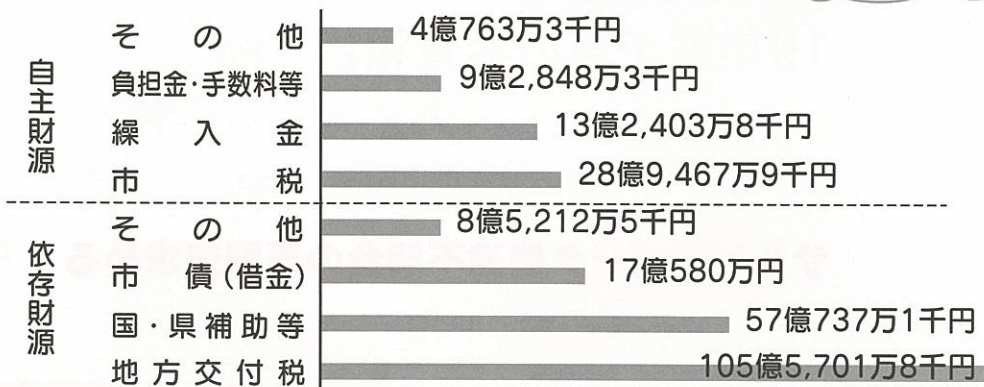
□一般会計□□□□□□

243億7,714万7千円

(前年度比7,684万円減)



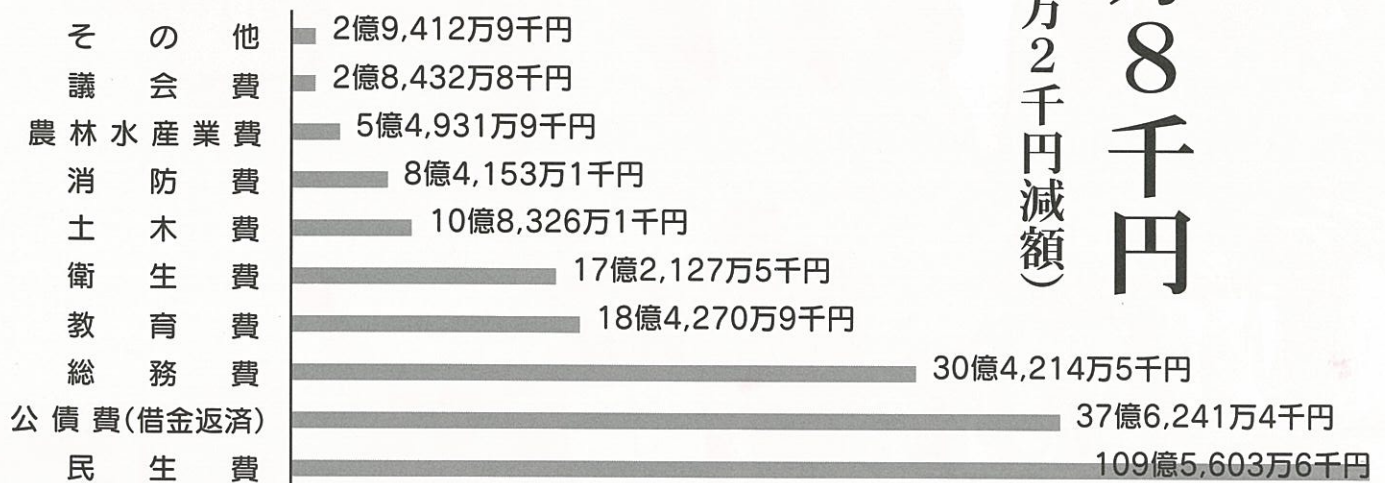
【歳入】



自主財源(本市独自の収入)・・・55億5,483万3千円(22.8%)

依存財源(他に頼った収入)・・・188億2,231万4千円(77.2%)

【歳出】



義務的経費(人件費など最低限必要な経費)・・・152億4,802万7千円(62.5%)

投資的経費(事業費など投資する経費)・・・7億7,722万1千円(3.2%)

その他(施設の維持管理などの経費)・・・83億5,189万9千円(34.3%)

□国民健康保険特別会計□□□

60億7,283万2千円
(前年度比7億4,342万5千円増↗)

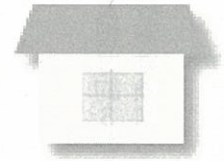


□□□□□□老人保健特別会計□□□

67億5,776万9千円
(前年度比5億6,131万1千円減↘)

□□住宅新築資金等貸付特別会計□□□□

1億3,625万3千円
(前年度比3,007万4千円減↘)



□□□介護保険事業特別会計□□□□□□□

46億2,693万7千円
(前年度比2億2,520万1千円減↘)

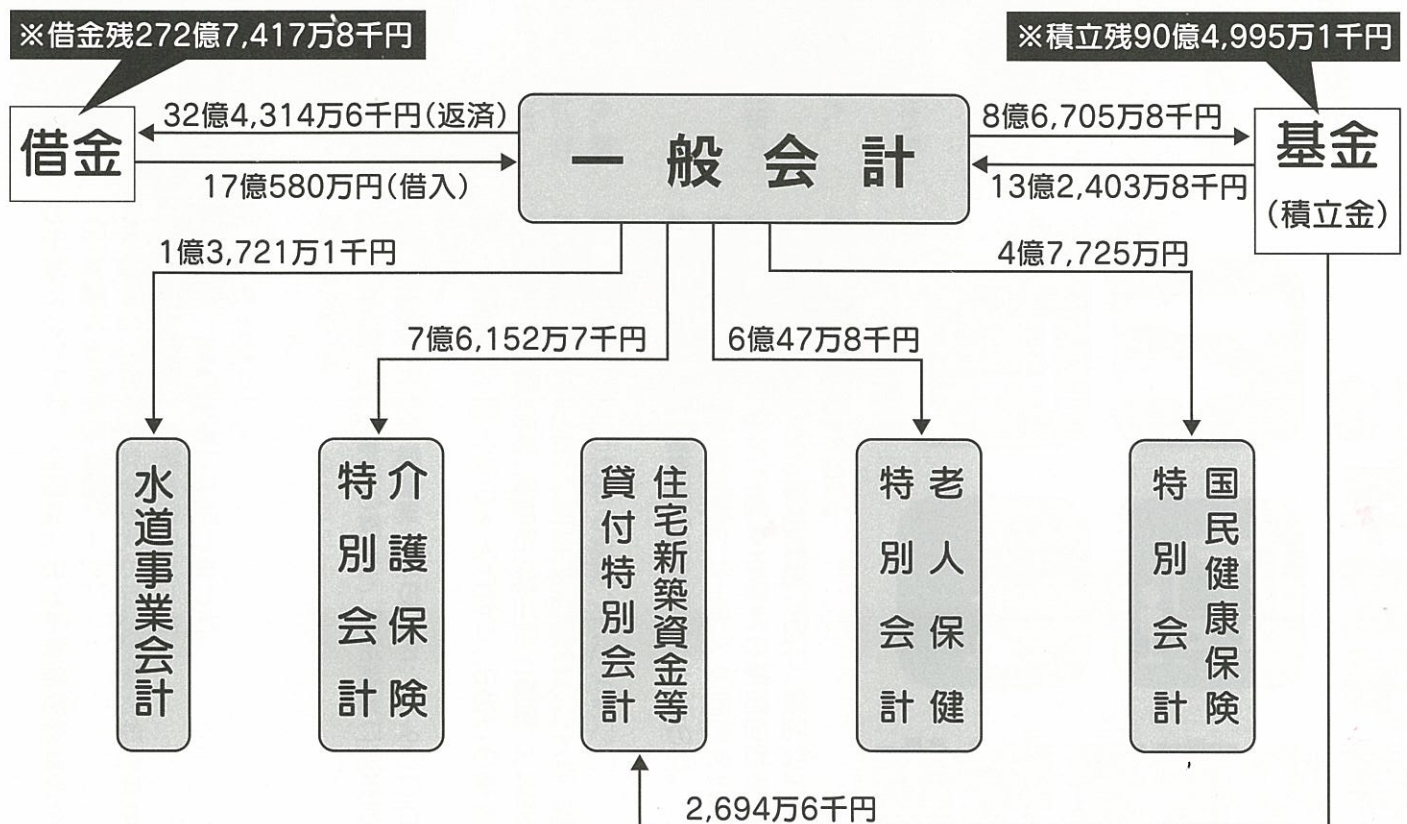


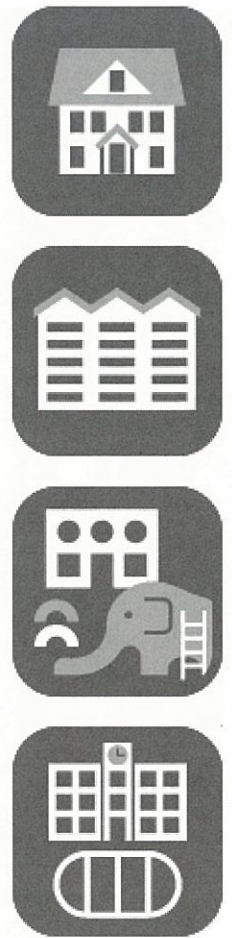
□□□水道事業会計□□□□□□□□□

10億1,026万円
(前年度比3,050万8千円増↗)

繰入・繰出・借入・返済状況

(19年度末見込み)





総務分科会

質 議員報酬の月額32万9千円は、住民団体からの異議申し立てが予想され、報酬額を下げる考えはないか。

答 報酬審議会で慎重に審査され出された答申なので、市としては真摯に受け止め提案している。意見 類似の市に比べても高い金額ではなく、議員数も26人に減少し、しかも活動範囲が広範囲になるので、市民に説明すれば納得いただけると思う。

質 臨時職員の見直しは行なったのか。

答 賃金は、前年度比で約6200万円減額し、数としては約20人の減少である。

質 ケーブルテレビを有料化する考えはないのか。

答 行政改革の中で、有料化に向けて取り組みを進めている。

企画財政分科会

質 行政改革をどの程度反映させているのか。

答 旅費、報酬、給与、手当、委託料などで約3億7千万円の削減効果を考えている。

質 国の税制改正により、住民負担が約3億9千万円増えるが、負担増を緩和する政策は検討しているのか。

答 現在の財政状況では、市独自で負担増加分を緩和することは非常に厳しい。しかし、子育て支援策については支援の拡充を行なっている。

民生分科会

質 行政改革で、保育所の統廃合、民間への移行はどのようになっているのか。

答 19年度は、検討することとなっている。

質 産廃場のカマタの状況はどうなっているのか。

答 県が調査し、12月に3万8千m³の容量超過が判明し、撤去命令と使用停止命令が出されている。最終的には覆土し安定させると聞いている。

文教分科会

質 給食費の収納率が下がってきているが、対策をどうするのか。

答 □座振替、徴収員の配置も含め検討していく。

質 稲築にある給食センターの近隣地域だけでも統廃合する考えはないか。

答 センター方式なら人件費など経費も削減できると思うが、現在、食育の重要性が取り上げられていることから、時間をかけて慎重に検討したい。

産業経済分科会

質 農業委員会の報酬月額を。

答 会長が4万1千円、副会長が3万8千円、委員が2万6千円である。

質 中山間地域直接支払交付金(国の補助金)の対象農家の推移はどのようになっているのか。

答 減少傾向にある。

平成19年度(4月～3月)の予算については、全議員による予算特別委員会を設置し、審査を行いました。(予算額などの詳細は前ページ)
 審査は、各委員会に該当する予算についてを分科会方式で行い、最終的には各分科会からの審査報告を受け、全議員で質疑、採決を行いました。
 採決の結果、19年度予算については、賛成多数で可決しました。
 各分科会における主な質疑は、次のとおりです。

建設分科会

質 特定開発就労事業の廃止で、暫定事業に残る方の就労場所の確保、残事業の取扱いをどのように行うのか。

答 就労者は、66人から4人となり、市内での事業継続が不可能なため、飯塚市、桂川町と協議し、就労箇所の確保を行いたい。また、残事業については、過疎債(借金を充当しながら継続していきたい)。

質 市営住宅の家賃滞納の解消はどのようするのか。

答 滞納額は昨年より増加しており、今回初めて滞納家賃の支払いなどに関する訴えの提起前和解を2件行なった。今後も滞納解消に向け、裁判など法的措置をもって臨みたい。



19年度予算の審査報告

議員64人最後の定例会

合併初年度の在任特別による議員64人での定例会も、この3月定例会が最後となりました。

3月定例会は、2月26日～3月19日までの22日間の会期で開催し、提案された議案は38件です。

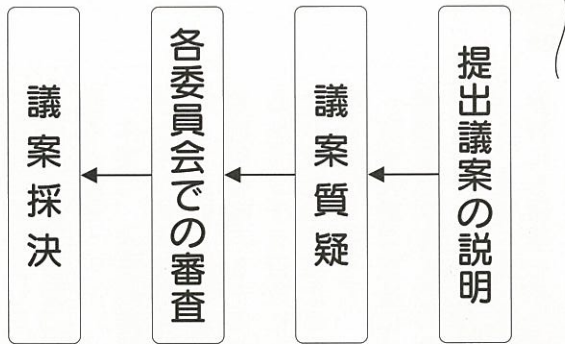
提出された主な議案は、『市長、副市長（旧助役）、教育長の給料額の特例に関する条例』、『議員報酬に関する条例』、『第一次嘉麻市総合計画』、『平成19年度予算』などです。また、定例会最終日には、議員提出議案が4件提出されました。

議案につきましては、それぞれの委員会に付託し、慎重に審査を行い、定例会最終日に全議員で採決を行いました。

審査経過および結果につきましては、次ページ以降に掲載しています。

3月定例会

議案審査の主な流れ



【会期スケジュール】

2月26日	本会議	提案
28日	本会議	質疑
3月 1日	各常任委員会	
2日	各常任委員会	
5日	各常任委員会	
6日	まちづくり基本構想調査特別委員会	
7日	予算特別委員会(分科会)	
8日	予算特別委員会(分科会)	
9日	本会議	一般質問
12日	本会議	一般質問
13日	本会議	一般質問
14日	本会議	一般質問
15日	本会議	一般質問
16日	予算特別委員会(総括質疑)	
19日	本会議	採決



18年度予算(3月補正)

一般会計 4,967万7千円減額
計 255億9,531万7千円

国民健康保険特別会計 1億459万1千円減額
計 55億5,088万8千円

老人保健特別会計 5億7,898万2千円減額
計 67億4,075万2千円

住宅新築資金等特別会計 補正なし
計 1億6,632万7千円

介護保険事業特別会計 2億8,554万1千円減額
計 45億7,310万7千円

水道事業会計 374万円減額
計 10億1,169万9千円

総額/10億2,252万7千円減額の434億7,176万3千円

一般会計補正の主なもの

【歳入】

合併推進体制整備費補助金	+3億2,400万円
障がい者自立支援給付費負担金	+2億702万8千円

【歳出】

自立支援給付費	+2億3,200万円
生活保護医療扶助費	-4億円
特定地域開発就労事業引退者援助金	
・自立支援加算金	+3億8,860万円

総務委員会

審査内容の報告

市長給料を減額

■嘉麻市市長及び副市長の給料の額の特例に関する条例

本案は、市長の給料額を今の85万円から76万5千円に、副市長の給料額を68万8千円から61万9千2百円に当分の間減額するため提案されたものです。

財政再建のためには減額幅を大きくすべきではないかとの質問に対し、特別職や職員給料にも影響を与えることも想定しこの減額幅とした。また、市長交際費も大幅に減額しており、理解が得られるものと考えているとの回答がありました。審査の結果、賛成多数で可決しました。

■市議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

本案は在任特例後の議員の報酬を32万9千円とするため提案されたものです。

議会は財政の建て直しに積極的な姿勢を示すべきであり、提示金額の2割程度の減額を

望むという意見や、報酬審議会の答申を尊重しながら今後の財政状況の如何によっては、新議会で市長、副市長議員の報酬について再度論議していただきたいとの意見が出されました。

審査の結果、委員会としては、審議会の答申にある、「旧山田市の報酬額を上限とする」ということを尊重するが、厳しい財政状況を勘案し、今後の報酬については新議会において更に議論を深めていただくことを強く要望し、賛成多数で可決しました。



企画財政委員会

審査内容の報告

合併による構成団体数の減少

■福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数の増減

本案は、市町村の合併による福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数の増減に関しては、関係地方公共団体と協議することとなっているため、地方自治法第290条の規定により、提案されたものです。

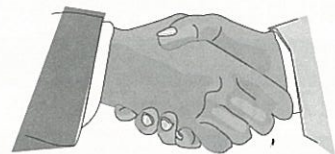
執行部より、平成19年1月29日付けで、山門郡瀬高町、同郡山川町及び三池郡高田町が廃止され、その区域をもって「みやま市」が設置されたことに伴い、福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数が増減したとの説明がありました。

審査の結果、今回の変更は合併による構成団体数の増減に伴うものであり、出席者全員で可決しました。

■福岡県市町村災害共済基金組合同約の変更

本案は、地方自治法の一部が改正され、市町村において収入役を

廃止し、会計管理者を置くこととされたことなどに伴い、福岡県市町村災害共済基金組合同約を変更する必要があるため、地方自治法第290条の規定により、提案されたものです。



審査の結果、今回の変更は地方自治法の一部改正に伴う関係規約の所要の整備を図るものであり、出席者全員で可決しました。

民生委員会

審査内容の報告

一般会計からの繰り入れを!

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

本案は、不均一課税になっている国保税の税率を統一するため、国民健康保険運営協議会の答申を受け提案されたものです。税率は、旧山田市の税率と同じで、内訳としては医療分で、所得割を10%に、資産割を50%に、均等割を1万8千円に、均等割を2万5千円に改め、介護分で、所得割を1.1%に、均等割を7300円に改め、資産割と平等割は削除するというもので、市の収入は医療分と介護分を合わせて約5千万円の増額になります。

また、答申書には、低所得者層への影響を配慮し一般会計からの繰り入れ措置を行なうこと、税の滞納についてはプロジェクトチーム等を設置し滞納額の解消を計画的に図ること、被保険者の増税感を考慮し今回一度に改定することなく2段階方式にすることなどの意見が付されています。委員からは、一般会

計からの繰入金についての質問が集中し、国保税の増税緩和や滞納額の補填のため、答申どおり、一般会計からの繰り入れをするべきではないのかとの質問に対し、現時点の財政状況から繰り入れについての即答はできないが、財政事情が変わってくれば繰り入れは決定していきたいとの回答がありました。

討論では、一般会計から繰り入れて政治の手を伸ばすべきだという反対意見が出されました。

審査の結果、委員会としては、賛成多数で可決しました。



文教委員会

審査内容の報告

盗難防止対策を!



当委員会が担当する事務についての要求資料が提出されましたので、執行部から説明を受け、審査を行いました。



山田図書館

■学校給食の収納状況について
学校給食については、嘉麻市管内の学校給食費の収納率は96%で、徴収員を配置されている地区は比較的収納率が良いため、徴収員配置や口座振込みの推進も含め検討していきたいとの執行部の答弁がありました。

嘉麻市立図書館備品の盗難について

嘉麻市立図書館備品の盗難については、社会科学、哲学、人文科学系の約500冊もの本が潤野小学校校庭の隣接地で放置されていることが判明しました。かなり以前から盗難が行われていたことも考えられるため、年1回行われている蔵書点検の回数を増やすなど、具体的な対応策について次回の委員会で報告することになりました。

委員から、盗難防止対策については、現場の担当者が義務的ではなく、前向きに考えて対応して欲しいとの意見が出されました。

産業経済委員会

審査内容の報告



尾田委員長 梶原副委員長 嶋田委員 北富委員 山下委員
佐藤委員 犬丸委員 中村委員 福沢委員 松岡委員 菅野委員

実効性のあるものに!

■食料・農業・農村基本条例

本条例は、農業及び農村に対する市民の理解を深めるとともに、安全な食料の安定的な供給及び環境の保全に配慮し、持続的に発展する農業の確立並びに豊かで住みよい地域社会の実現に寄与するため提案されたものです。委員より、本条例が制定されると、農業者、市民、事業者に責務を負わせることになるので、市民への周知を十分にを行い、実施要綱を作成する際には実効性のあるものにすべきであるとの意見が出されました。

■キャンプ村条例の一部を改正する条例

本条例は、施設の老朽化及び利用者数の減少等により、嘉麻市キャンプ村のうち、熊ヶ畑キャンプ村及び碓井野外活動センターを廃止するため提案されたものです。委員より、利用が少

ないから廃止するのはなく、他の利用方法を検討する考えはないのかとの質問に対し、利用状況の問題、建て替える場合の財政的な問題、観光資源になりうるのか等の問題を検討した結果、廃止することになったとの回答がありました。委員からは、碓井野外活動センターは小学校に隣接する施設なので、管理を厳重にしてほしいとの要望が出されました。

審査の結果、全会一致で可決しました。



広がる農地

建設委員会

審査内容の報告



森委員長 藤中副委員長 吉永委員 跡部委員 平井委員
松岡委員 仲野委員 縄田委員 永嶋委員 坂口委員 高倉委員

継続審査について

■市道224号線にかかる大力橋の架け替えに関する請願書

執行部より、一般国道322号八丁峠のトンネル工事については、昨年の11月12日に測量・地質調査の着手式を行っており、その工期が平成19年3月末までとなっている。その後工事設計に着手する予定で、設計が完了次第、国道工事事務所の報告を受け、取付道路に關連して、大力橋についての検討に入りたいとの報告があり、継続審査となりました。

また、関連して国道322号嘉穂地区のルートについて、県としては、まず現在工事中の山田バイパス工事に全力を挙げ、その後嘉穂地区ルートへの検討を行いたいとの回答があった旨の報告がありました。

■市内現地調査について

①傾斜面の崩落により工事が遅れている一般国道322号山田バイパスのジャンクションの調査、②山田地区

の河川改良工事に伴う尾浦橋などの架け替え要望箇所調査、③未利用のまま放置状態にある炭鉱住宅改良住宅を建設した際の仮設住宅について市営住宅としての再利用調査、④旧JR跡地道路の嘉穂地区の危険箇所の調査を行いました。

現地調査の結果、旧JR跡地道路の嘉穂地区の危険箇所については、山田方面からの下り坂とカーブが複合し、歩道もなく非常に危険であること、道路整備におお数年を要することから、建設委員会では直ちに飯塚土木事務所に強く申し入れを行いました。



国道322号

まちづくり基本 構想調査特別委員会

審査内容の報告

嘉麻市の将来計画を策定

■第一次嘉麻市総合計画
 本案が提案されるまで、本特別委員会では、地方分権時代にふさわしい嘉麻市の将来像とそれを実現するための方策を検討し、計画を策定する段階では、市民部会の状況報告などを受け、議論を行なってきました。

このような議論を経て、合併前に定められた新市建設計画を基礎としながら、総合計画策定審議会、市民部会の意見を踏まえ策定されたものです。

委員より、ケーブルテレビ事業、老朽化している市営住宅の建て替え、産業廃棄物対策の推進、国・県道への

アクセス道路の整備などに對して、多くの意見が出されました。

審査の結果、社会資本の整備、身近な環境やインフラ整備など全体的には賛同できるが、ケーブルテレビ事業については、市民が要望すれば市内全域へ広げることができるといふ表現となつていて、賛同できないとの意見がありました。賛成多数で可決しました。

■過疎地域自立促進計画

本案は、合併により市内全域が過疎地域に指定されたため、過疎法の失効する平成21年度までの3ヶ年計画を提案するものです。

執行部より、旧市町の事業のバランスを考え、策定しているとの説明がありました。

審査の結果、通信関係施設のケーブルテレビ事業に疑問があること、及び今までの延長線上に立った人権・同和施策は実施すべきではないので賛同できかねるとの意見がありました。賛成多数で可決しました。

議 決

サルビアパークの用途 不明金の再調査を求める

本市が資本金の全額を出資しているサルビアパークにおいて、損害保険還付金3万8430円の使途不明金が判明しています。

サルビアで調査委員会が組織され調査を行なった結果、損害保険還付金を受け取った職員が一度は横領の事実を認め退職願を提出しましたが、その後前言之の横領の事実をひるがえし別の主張をしています。調査委員会は、その別の主張のみを前提に、還付金については紛失と断じ、使途不明金については少額であり当該職員が弁償し損害を与えていないとして事務怠慢についての処分が決定しています。

このような調査結果は、サルビアパークの公金管理に対する感覚を疑わざるを得ません。

また、当該職員は、別の職員などが「横領した」「預けた」と、その場しのぎの説明を行ない、名指しされた職員などの名譽が著しく損なわれており、しかも、名指しされた職員などに対する名譽回復の手段が取られていません。

よって、本市議会は、1日も早いサルビアパークひいては市政の信頼回復に努めるよう、次の事項について強く要望し、決議しました。

- ① あらゆる調査手法を検討し、徹底した再調査を実施すること。
- ② 再調査を実施しても事実関係が確認できない場合、刑事告発を行なうこと。
- ③ 再調査を通じ、当該職員より名指しされた職員などの名譽回復をはかること。
- ④ 再発防止のため、サルビアパークの経理処理、監査体制の再構築をはかること。

議案の結果一覧

各委員会で審査された議案を全議員で採決した結果

○…全会一致

△…賛成多数

*…討論あり

総務委員会		
議案第 1号	当分の間給料は減額、市長は月額76万5千円・副市長(旧助役)は月額61万9,200円	△可 決
〃 第 2号	当分の間給料は減額、教育長は月額57万6,600円	△可 決
〃 第 3号	副市長定数を1名とする条例(助役が副市長に変わる)	○可 決
〃 第 5号	議員報酬は月額32万9千円に改める	*△可 決
〃 第 6号	特別職の給与など支給条例文中の「助役、収入役」を「副市長」に改めるなど	○可 決
〃 第 7号	職員の給与改定および地域手当の支給率見直しなど	△可 決
〃 第 8号	職員などの現行旅費の日当不支給地域の見直し	○可 決
〃 第 9号	地方自治法条例文中の「助役、収入役」を「副市長」に改めるなど	○可 決
〃 第10号	情報公開条例文中の実施機関に、「土地開発公社」を加えるなど	△可 決
〃 第11号	個人情報保護条例の一部改正	*○可 決
〃 第12号	行政財産使用料条例の一部改正	○可 決
〃 第17号	消防副団長「5人」→「4人」、分団長「20人」→「22人」、団員「644人」→「633人」など一部改正	○可 決
〃 第18号	職員退職手当組合を組織する数の増減など	○可 決
〃 第19号	自治振興組合を組織する数の増減(瀬高町・山川町・高田町→みやま市)	○可 決
〃 第20号	自治振興組合規約文中の「助役、収入役」を廃止	○可 決

企画財政委員会		
議案第21号	災害共済基金組合を組織する数の増減(瀬高町・山川町・高田町→みやま市)	○可 決
〃 第22号	災害共済基金組合規約文中の「収入役」を「会計管理者」に改める	○可 決

民生委員会		
議案第13号	国民健康保険税条例の一部改正	*△可 決
〃 第14号	乳幼児医療費の支給「3歳まで」を「5歳まで」に改めるなど	○可 決
〃 第15号	若年者専修学校等技能習得資金賞与条例文中の保証人「2人」を「1人」に改めるなど	○可 決
〃 第25号	特定事務の郵便局取扱いに関する規約の制定	取り下げ
〃 第37号	福岡県後期高齢者医療広域連合の設置(県内すべての市町村)	*△可 決
〃 第38号	特定事務の郵便局取扱いに関する規約文中の「午後4時まで」を「午後5時まで」に改めるなど	○可 決

産業経済委員会		
議案第 4号	食料・農業・農村基本条例	○可 決
〃 第16号	熊ヶ畑キャンプ村と碓井野外活動センターの廃止	*△可 決

まちづくり基本構想調査特別委員会		
議案第23号	総合計画(10年間のまちづくり)を定める	△可 決
〃 第24号	〃 第24号 過疎地域自立促進計画(3年間)を定める	△可 決

予算特別委員会		
議案第26号	平成18年度一般会計補正予算 (5P参照)	*△可 決
〃 第27号	〃 国民健康保険特別会計補正予算	○可 決
〃 第28号	〃 老人保健特別会計補正予算	○可 決
〃 第29号	〃 介護保険特別会計補正予算	○可 決
〃 第30号	〃 水道事業会計補正予算	○可 決
〃 第31号	平成19年度一般会計予算 (2~3P参照)	*△可 決
〃 第32号	〃 国民健康保険特別会計	△可 決
〃 第33号	〃 老人保健特別会計	△可 決
〃 第34号	〃 住宅新築資金等貸付特別会計	△可 決
〃 第35号	〃 介護保険特別会計	△可 決
〃 第36号	〃 水道事業会計	△可 決

議会運営委員会		
議員提出議案第1号	議会委員会条例の一部を改正	○可 決
〃 第2号	議会会議規則の一部改正	○可 決
〃 第3号	議会議員の定数を定める条例の一部改正(継続審査)	*○継続審査
〃 第4号	議会議員の選挙区に関する条例を廃止(継続審査)	○継続審査

その他		
決議第1号	文化スポーツ振興公社(サルビアパーク) 用途不明金にかかる徹底した再調査を求める	*○可 決
〃 第2号	旧産炭地域への財政支援措置など充実強化を求める	○可 決
諮問第1号	任期満了に伴い、人権擁護委員に引き続き西田宏氏を推薦する	○同 意

いっぱん質問

行政の考えを問う



「お詫びと訂正」
議会だより第3号の平田議員の一般質問見出し中「教職員の監視体制は」は「教職員の指導体制は」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

質 第1次嘉麻市総合計画の住民説明会について、一般住民の参加者よりも職員が多いのは問題があると思うし、住民に対して説明責任が果たせていない。広報の仕方にも問題があるのではないのか。
廣方企画財政部長 職員については、市民の意見を直接生で聞くということで、自主参加

山下峯生 議員
問. なぜ市長給料を30%カットしなかったのか
答. 全体のバランスを考えカットした



山下議員(稲築)

を呼びかけたわけだが、市民の参加が少なかった。周知の方法については、市の広報や、有線放送、防災行政無線、ケーブルテレビ等で情報を流してきたが、結果的に市民の参加が少なかったことに反省しているところだ。今後は、市政懇談会を恒例的にやりながら関係機関や、いろいろな団体の方々の意見交換や、議員の方々にも説明をしていく必要があると思っている。
質 行財政改革で、公共料金の値上げが盛り込まれているが、中でも学童保育料の値上げは、少子化対策から考えると逆行しているのではないかと思えない。市長の給料は10%カット、公共料金の値上げは50%以上、学童保育料にいたっては300%アップ、これでは市民も納得しない。市長の給料を30%カットして、職員もカットし、市民の方々も負担してもらおうなら、多少は納得出来るが、市長の考えを聞きたい。

松岡市長 市長給料は30%カットでもいいと思うが、他に波及していくことも考えられ、バランス良くという事で10%となった。

質 子は国の宝とか地域の宝と言いながら学童保育料を値上げするのは、納得がいかない。少子化対策を考えたときは、やっぱり保護すべきだと思うが市長の考えはどうか。
市長 今後そういうふう出来るように財政を健全化していきたい。

市民

市長給料





梅永議員(稲築)

梅永茂美 議員

問. スケールメリットを示し、市民の理解を求めるべき

答. 市民の理解を得られるように取り組んでいきたい。

農業基本条例の制定については、6月議会にて提案を行ったところ、今議会において嘉麻市の第一次基幹産業である農業の振興、育成、それに伴う食料の供給、食育の問題も含めた条例が制定される運びとなっている。

この条例については、県下で5番目に制定されるものであり、関係部署の今日までの努力に対し敬意を表したい。行政改革の実施計画が示されているが、行財政改革に取り組み中で、年度ごとのメリット、デメリットを示しながら、市民の理解を得るために取り組むべきと思う。議会、市民等の理解を求めるために、推進体制の問題等も含め、今後どのように取り組んでいくのか。



松岡市長 副市長をトップに推進体制を整え、取り組んでいきたい。今回の行政改革については、大幅な財源不足を解消することが目的であり、5年を目的に黒字に転換し、財政の健全化を図りたいと考えている。

市民への情報提供についても、広報等を活用しながら、分かりやすい内容を示し、行政改革の取り組みに理解が得られるように努めていきたい。



田中議員(碓井)

田中義幸 議員

施政方針に基づく意見

問. 道の駅うすいが商店を苦しめている

答. 共存共栄を研究する

道の駅うすいは地産地消を目的とし100%公費で建てられた。スーパー並みの営業で、納税者である商店を苦しめている。市長は商店街の活性化を唱えているが矛盾する。

松岡市長 道の駅うすいは客が増加の傾向だ。その分商店街が苦勞している。共存共栄について研究していく。

要望 商店街の方々の要望 商店街の方々の要望 商店街の方々の要望



道の駅うすい

ト方式を取るとのことだがなげだ。山崎教育長 飯塚市、桂川町でもフクトである。学力水準を把握するには、同じ形のテストが望ましい。質 文科省から平成5年に業者テストを入学選抜、進路指導に使わないよう通知が来ている。おかしいのではないかと。教育長 学力の実態を把握し、教育施策、学習指導に生かしたい。



新井議員(山田)

新井高雄 議員

清潔・透明・公正な市政を

問. 談合・ワイロ事件をうやむやにするな

答. 守秘義務などで、事務的な流れしか聞けない

質 市民の大きな怒りの声があがった談合・ワイロ事件を放置すれば、市民の信頼を回復することにはならない。この間、どのような手立てをとったのか。兼野総務部長 守秘義務などもあり、当時の担当者から入札に関わる事務的な流れしか聞くことができない。裁判を傍聴して、事

件の経過は把握している。質 談合によって市がこうむった損害は、あくまで賠償請求すべきだ。松岡市長 予定価格も公表しているため、損害額の計算がたいへん難しい。談合した業者は、社会的制裁を受けており、市としても最高罰則である24ヶ月の指名停止をしている。質 市の考えと姿勢はきわめて消極的だ。市長は、業者から選挙の時、応援を受けているのか。市長 最初の選挙の時だけ応援を受けた。質 談合再発防止のため、①一般競争入札の実施、②内部通告の保証、③談合した場合、損害賠償の契約化を要請してきたが、その結果は。田中助役 指名委員会 で検討中である。質 今回の事件の根底にあるものは、議会の審議権と行政の執行権とがあいまいにされてきたことによるものではないか。事件からの教訓を踏



まえ、議員からの要請に対して、適切に対応できるシステムづくりを求めたい。助役 強要があれば、必ず上司に報告するシステムになっている。質 百谷谷地区の産業廃棄物処分場に対する県の行政処分(使用停止と改善命令)について、すべて県まかせではなく、嘉麻市としても独自に立ち入り調査など取り組むべきだ。市長 今後、取り組んでいきたい。(その他、「行財政改革」によるくらし・福祉の後退の見直しについて質問しましたが、紙面の都合上、割愛しました。)

藤嶋敏昭 議員

子どもたちに普及している携帯電話の利用について

問. トラブルに対する指導は

答. 推進協議会で論議を進めながら指導を徹底していきたい



藤嶋議員(碓井)

質 今、子どもたちに急速に普及している携帯電話、携帯のインターネット機能を利用して、犯罪に巻き込まれるケースも少なくないと言われている。文部科学省では、このほど携帯の利用について注意を促し、トラブルや対処法などを紹介した「ちよつと待て、携帯」というリーフレットを作成したと聞いている。2月から全国の小学校6年全員、公立、私立合わせて約120万人に配布されているようだ。嘉麻市の小学校6年生にはこのリーフレットが配布されているのか。小山田学校教育課長 指摘の啓発リーフレットについては、平成19年1月13日付けで文部科学省の方から通知があった。2月14日付けで、それを受理して、小学校を通じ、6年生に配付している。質 ここ数年で携帯電話は小・中学生の間にも急速に浸透し、子どもたちが事件やトラブルに巻き込まれることが多くなったと言われているが、この嘉麻市の小・中学生でこれまで事件やトラブルに巻き込まれることはなかったか。学校教育課長 嘉麻市内の学校においては、報告が来ている限り、中学校において携帯電話のチェーンメールが

1件発生している。これについては学校の方で強く指導している。質 チェーンメールに限らず、料金の架空請求や脅迫などのトラブルは、インターネット上で知り合った人などに電話番号やメールアドレスを軽い気持ちで教えていることが原因となっている。学校や教育委員会としても指導すべきではないのか。山崎教育長 現在ではパソコンの指導の先生で情報の推進協議会を立ち上げている。そこで論議を進めながら指導を徹底していきたいと考えている。





中嶋議員(碓井)

中嶋義道 議員

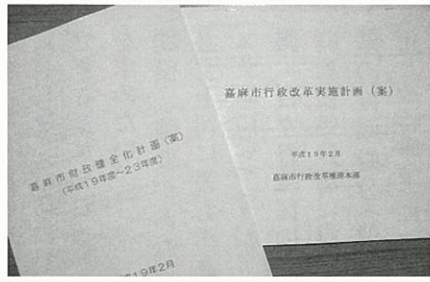
行政財政改革について
問. 計画どおり実施できるのか

答. 最大限の努力が必要である

質 合併調整項目は、11月1日現在、841項目中657項目の調整ができ、達成率80%であるが、今後の調整はどうするのか。
行政改革推進室長 進捗率は82%で、年度内に調整がつくものが多い。
質 速やかに調整を図り、公平・公正な行政運営を行ってほしい。
実施計画では、財政

見通しとして、行政改革を実施した場合、5年後の平成23年度に赤字に転換することになっているが、計画どおり実現可能か。
質 分庁方式あるいは総合支所方式について、行政改革や事務の効率化を図る上で、早急に見直すべきではないか。
兼野総務部長 行政改革を進めながら、総合支所・分庁方式の見直しのみでなく、最も効果率的で、むだのない組織を構築したい。

質 国の農業政策の転換で、政策支援の対象となる担い手農家、集落営農組織の育成強化を加速する必要に迫られているが、12月以降の取り組みは。
原田農政課長 4月以降に米と大豆の申請が始まるので、それ以降でない把握できない。
質 道路網の整備については、上臼井の飯田市街地を歩いた時に、直接住民の方から市街地の交通の安全を図つて欲しいとの声があがっている。
J R 跡道路の完成とともに穂波・嘉穂線の交通量が多くなっているが、歩道幅も十分でないため、J R 跡道路を県道に昇格してはどうか。
桂川町の笹尾から土師までの間の道路が整備されているので、笹尾橋から冷水方面への短絡路ができれば、上臼井、飯田地域、そして桂川町の土師地域の交通量の緩和が図られると思うが。
松尾都市計画課長 県道の昇格、それに伴う短絡路の整備は県に要望しており、県と桂川町と協議中である。

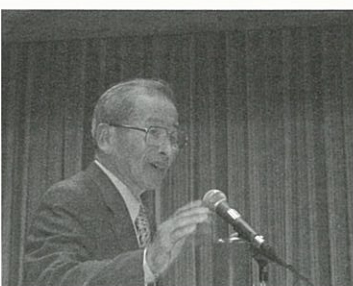


行政改革実施計画と財政健全化計画

秋山宣博 議員

(仮称)嘉穂小学校建設事業について
問. 建設場所や年度別内訳、PTAの意見の取り入れを

答. 答申を尊重し、平成22年から建設に着手する



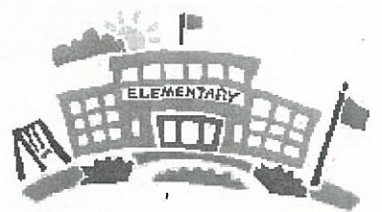
秋山議員(嘉穂)

質 旧嘉穂町において文教施設総合計画審議会が8回開催され、旧嘉穂町長へ答申書が提出されている。
(仮称)嘉穂小学校統合施設整備基金の7億6千万円については、純一般財源であり、基金の運用が早急に図れるように願う。
厳しい財政状況下ではあるが、次代を担う

質 建設に至るまでの年度ごとのスケジュールはどのように考えているか。
教育長 基本構想を策定する中で、具体的なスケジュールが決定されると考えているが、平成19年度に基本構想

子どもたちへの教育環境を一日も早く整えることへの旧嘉穂町民の期待は大きいものがあり、一日も早く取り組んでもらいたい。
松岡市長 旧嘉穂町における文教施設審議会の答申を尊重しながら、今後早急に対応していきたい。
質 審議会答申に示されている候補予定地は農業用地であり、農地を転用する場合には県や農業委員会などとの事前協議が必要であると思うが。
山崎教育長 法規制の問題や関係機関との協議等を含め、プロジェクトチームなどの具体的な作業チームを組織しながら取り組んでいきたい。

質 建設内容の大部分を決定することになる基本設計の段階においては、PTAや教職員、地域の方々などの意見を聞きながら、取り組んでいきたいと考えている。



質 サルビアパークで使途不明金が発生した。そこで、サルビアパークの会計について情報公開条例に基づき資料、決算書を集めた。その中の平成12年度決算書において、決算書に載っている以外に別の預金通帳が出てきた。この横抜きした預金を平成15年度に戻し入れした様になっている。ということは12年度から

松本英幸 議員

問. サルビアの決算書が間違っている

答. 議会に諮って認められた



松本議員(山田)

15年度の決算は改ざんしたとしか言いようがない。当時の議会を騙したのか。

松岡市長 これば議会に必ず諮らなくてはならない。議会に諮って認められた。

質 山田文化団体連合会がサルビアパークを利用した時の請求書も領収書もない。このような状態で監査が決裁の印鑑を押すのか。

市長 私は充て職で、私が理事長に就任してから、そのような文化連合に対する不正的な望ましくないことは起こっている。

質 小学校においてまなび塾を1校実施すると費用はいくらか。その実施はどうなっているのか。

松岡生涯学習課長 まなび塾とは平日の放課後及び土曜日に学校の空き地、教室等を利用して、子どもの居場所の確保と地域によって子どもを育てる事業で、年間250日以上、活動をこなす。費用としては1校で350万円程度かかると聞いて

いる。全部一度にはできないので、学区あるいは地域の一定のエリアで活動したいと思っている。

質 住宅建て替えについて、老朽化した住宅は何戸あるのか。解体して平屋3DK住宅に建て替えるには、1戸当たり費用はいくらかかるのか。また、財源内訳はどうなっているのか。

市長 老朽化した住宅は310戸ある。建て替え費用は1戸1800万円。財源は国が900万円、残りが起債で充当する形になると考える。

質 住宅政策の一環として、職員、市長、議員も辛抱して住宅建設基金をつくったらどうか。市長 考えていく。



サルビアパーク

松岡康則 議員

問. サルビアパーク使途不明金の真相究明は

答. 理事会では、職場環境、経理と体制を強化することが先決として職員の処分を行った



松岡議員(山田)

質 サルビアパーク使途不明金の経過と真相の徹底究明は。

松岡生涯学習課長 昨年の10月、サルビアパークで保険の還付金を係長が着服していると、の届け出があり発覚したが、本人が潔白を訴えており、サルビアパークでは、調査委員会を設置し、調査をした。

警察等をお願いし、被害届を出すべきとの意見も出たが、「本人が紛失したと主張しており、これ以上調査しても平行線のままで解決のめどが立たない。」本人が弁償しており、被害がなく、これ以上サルビアパークのイメージを悪くする必要はなく、この事件をきっかけに職場環境や経理体制を強化することが先決である。」として、係長に対し、現金の管理を行う立場の者としての事務怠慢、また上司に虚偽の報告をしたことに對しては、専務理事に、経理の最高責任者として、部下の管理不行き届きとして処分を行い、最終の決着をみた。

質 かつての臨時職員が横領したとの係長の発言により疑いを掛けられた方に対する人権問題については。

松岡市長 新聞記者の取材の中で、係長の発言を聞かれ、係長が「私は潔白だが、かつての部下の責任を取るため



「辞職したい。」と発言したことを伝えたもの。

要望 調査委員会を設置する時は、議会又は外部から人選をして欲しい。

質 サルビアパークでは、平成13年までに175万5333円が別通帳で管理されていた問題については。

松岡市長 別通帳があることを聞き、望ましくないとして一本化した。質 議員、職員の倫理規定があるなか、公金を横領した場合の処分や祝儀を個人で分けた場合など倫理の徹底を。山崎教育長 一般行政では、祝儀等は収入として処理していた。

質 このJ R跡地道路は、今は基幹道路であり、道路の安全面から歩道も設置しなければならぬ。維持管理や県道と市道の道路構造の違い(舗装厚の問題)、さらに財政面から考えても県道に格上げしなければならぬと思うが、どのように考えているのか。

質 財政改革は、まず職員定数を明確にし、それを基準に改革する必要があると思うが、人事課長 職員定数は、

宮原由光 議員

問. JR跡地道路の県道格上げと行財政改革について

答. 県と協議中。改革は早い時期に示したい



宮原議員(山田)

質 行政改革は組織機構を明確にし、それを基準に改革しなければならぬと思う。そのためには、例えば財政上、本庁方式をとらないと、総合支所方式ではこのように無駄が多いので、このように見直すなど、具体的の問題を提起しながら改革を進めないと今の基本計画では抽象論でしかない。

質 いつまでに具体的な行政改革の実施を考えているのか。

坂口人事課長 組織機構については、検討委員会を昨年末に組織し、現在検討を行っている。できるだけ新年度の早い時期に具体的な案を、第一次の組織機構改革という形で示すことができるかと考えている。



JR跡地道路

現在、J R跡地道路は県道化に向けて、飯塚土木事務所と協議を行っている最中である。

質 行政改革は組織機構を明確にし、それを基準に改革しなければならぬと思う。そのためには、例えば財政上、本庁方式をとらないと、総合支所方式ではこのように無駄が多いので、このように見直すなど、具体的の問題を提起しながら改革を進めないと今の基本計画では抽象論でしかない。

この問題については、合併の効果を最大限に生み出すためにも、適正な職員の定数管理に取り組み、平成27年には現在の548人を400人にする考えであり、組織機構の問題、行政改革の実施計画との整合性を図りながら実施していきたい。

森 謙策 議員

問. 旧嘉穂町小学校の統廃合を速やかに

答. 計画的に構想を練り対応していく



森 議員(嘉穂)

質 公有財産の処分は進んでいるのか。また、数多くある補助金の見直しはどう進めるのか。

田中管財課長 平成18年度14区画の分譲地を販売し、旧嘉穂町分2区画を処分、公用車1台を販売した。

廣方企画財政部長 補助金は19年予算で一律10%カットする。19年度中に補助金交付基準をつくり一本ごとに見直しをしていく予定である。

質 旧嘉穂町小学校の統廃合を速やかに行なうべきではないか。

松岡市長 来年度予算にも上げており、計画的に早く構想を練り対応していく。

質 19年度、千手、宮野、足自小学校の3校が複式学級になる。市として複式学級解消指導員の配置をお願いしたい。

市長 複式学級については県教委の各学校への加配状況等を見て複式学級解消に向け対応していく。

質 年々厳しさを増す農林業の振興をどう進めていくのか。

原田農政課長 農業農村が持っている自然環境の保全、多面的機能を発揮しながら、継続性のある施策の必要性を認識している。食料農業農村基本条例に基づき基本計画を策定し、関係機関と協議しながら農業の振興を図っていく。

質 健康で長寿を全う

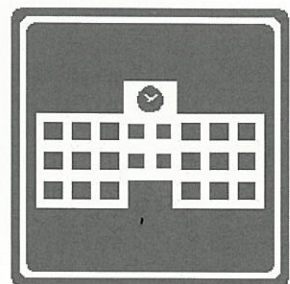
することは人生最大のテーマである。嘉麻市の介護予防の実態と今後の施策はどうするのか。

大塚健康課長 高齢者の健康づくりは重要課題である。稲築保健センターには高齢者向け筋力向上機器を設置し成果が上がっている。

また、19年度からは介護予防事業に取り組んでいく。

質 総合型地域スポーツクラブの育成を図り、子どもから高齢者までの健康づくりを図るべきではないか。

松岡生涯学習課長 旧嘉穂町宮野地区で本年2月宮野クラブとして嘉麻市で初めて設立された。今後他の地区でもクラブ設立に向け推進していく。





赤間議員(山田)

赤間幸弘 議員

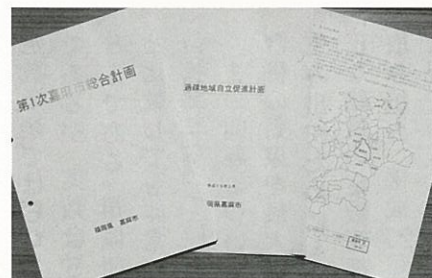
実のある行政改革を

問. 正確な情報提供と情報の共有を

答. わかりやすく理解できるように情報の提供を行う。

質 現状ではどの程度の財源不足が生じると見込んでいるのか。
廣方企画財政部長 18年度では、17年度決算による繰越金8億7600万円と、基金からの繰入金6億円を除けば、単年度収支で約14億8000万円の赤字が発生するが、18年度に繰越金が約1億円見込まれるので、差し引き約13億円の赤字が発生す

る見込みである。
質 行政改革を実施するにあたって、行政が常に正確な情報の提供を行い、市民、議会と情報を共有することによってはじめて、実のある議論ができ、一体となつてまちづくりを進めることができるのではないかと。
企画財政部長 行政改革については、毎年実証・検証を行いながら進めていきたい。
また今回、過疎地域自立促進計画と総合計画を同時に提案しているが、19年度に限っては計画をすべて予算に反映させている。
行政改革の進み具合と並行しながら、総合計画の実施計画で、20年度、21年度に実施可能な事業を選択する必要があると考えている。
松岡市長 情報の提供と情報の共有は非常に重要なことであると思う。特に、審議会の答申の中でも、職員の意識改革が強く求められており、今後、行政改革のための研修会を開催する予



総合計画と過疎計画

定である。
また、市民、議会への情報提供については、本市の財政状況等が分かりやすく理解できるように、パンフレット等の作成を検討していきたいと考えている。
質 市長は、旧山田市では市民参加条例を条例化し、情報を共有することが最大の公約であったと思うが、嘉麻市の現状としては極めて情報が開示されていないと思うが。
市長 市民からのいろいろな情報を得たり、計画段階から市民が参加できるように、21年度を目的に自治基本条例を制定したいと考えている。



中村議員(山田)

中村春夫 議員

産業廃棄物問題について

問. 不法投棄ごみに対する4者協議の結果内容は

答. お互いの考えを出し合いながら、解決に向けて取り組む

質 2月27日に行われた熊ヶ畑の不法投棄産廃ごみに対する国、県、市、住民会議との4者協議の結果は。
鈴木環境課長 これまでのような責任追及ではなく、今後は実際に産廃ごみを撤去するにどの程度の費用がかかるのか、どういう方法が考えられるかなど、お互いの考えを出し合

つて解決に向け取り組むことを確認している。
質 熊ヶ畑の産業廃棄物処分場の現状は。
環境課長 これまでのところ特別に異常は報告されていない。
質 百々谷地区の産業廃棄物処分場については、測量の結果、3万8千㎡もの超過を確認したため、県は即時に搬入禁止と、来年1月15日までに超過ごみを撤去するよう行政指導を行っているが、嘉麻市として今度どう対応していくのか。
松岡市長 県の対応は近年になく早かったと評価しているが、今後の対応によつては厳しく抗議する必要があると考えている。
質 自然環境保護条例の制定は。
環境課長 次の6月議会に「嘉麻市環境基本条例」とともに提案する予定である。
質 旧山田市で実施していたように、不法投棄ごみの監視に、消防団を活用してはどうか。
松岡市長 今後検討し、



研究したい。

質 嘉麻市の財政危機を乗り切るため、行政改革実施計画により、使用料・手数料等の値上げ、各種補助金の削減など、市民に多くの負担と不便を与えることとなる。現在の嘉麻市民の所得水準を考えると、市民の理解を得るには、特別職の給料を10%削減するだけでは、削減額が少なすぎると思うが。
市長 報酬審議会の答申を尊重するとともに、他の特別職、議員報酬等への配慮、均衡を考へての結果である。
これは流動的に当分の間としており、今後の財政状況を見ながら必要であれば更なる減額も考えていきたい。

質 現在、国道322号線バイパスの山田第1工区工事が最終局面を迎えているが、これに続く第2工区はどうなっているのか。

松尾都市計画課長 山田の第1工区2.5kmは、平成20年度内に供用開始の予定であり、その後、山田第2工区2kmは、大隈トンネルに向けて着手する予定になっている。

尾田卓夫 議員
 国道322号バイパスの効果的計画について
問. 山田第2工区の法線を見直すべきではないか
答. 県の考えを確認し協議する



尾田議員(山田)

質 第2工区は旧市町時代に計画されたものであり、嘉麻市となった現在、市として最も利便性の高い有効な道路とすべきである。

大隈トンネルに接続する現在の計画は有効性に乏しく、道路計画を見直すべきだと考える。国道322号線バイパス工事は、促進期成会を立ち上げ、現在の計画で県に陳情活動を行った結果であり、道路法線の変更は難しいと考えるが、この道路が全線開通すれば、市内から約30分以内で九州自動車道に乗り入れることができ、企業誘致など経済効果が期待できる。

道路行政は10年、20年あるいは100年先を見据えた中で行なわれるべきである。見直すことによって、工事の着工が遅れても市にとって、この道路が本来に生きた道路となるためにも、第1工区から八丁峠までの道路法線について、審議、協議す

質 第2工区は旧市町時代に計画されたものであり、嘉麻市となった現在、市として最も利便性の高い有効な道路とすべきである。

大隈トンネルに接続する現在の計画は有効性に乏しく、道路計画を見直すべきだと考える。国道322号線バイパス工事は、促進期成会を立ち上げ、現在の計画で県に陳情活動を行った結果であり、道路法線の変更は難しいと考えるが、この道路が全線開通すれば、市内から約30分以内で九州自動車道に乗り入れることができ、企業誘致など経済効果が期待できる。



質 第2工区は旧市町時代に計画されたものであり、嘉麻市となった現在、市として最も利便性の高い有効な道路とすべきである。

大隈トンネルに接続する現在の計画は有効性に乏しく、道路計画を見直すべきだと考える。国道322号線バイパス工事は、促進期成会を立ち上げ、現在の計画で県に陳情活動を行った結果であり、道路法線の変更は難しいと考えるが、この道路が全線開通すれば、市内から約30分以内で九州自動車道に乗り入れることができ、企業誘致など経済効果が期待できる。



組坂議員(碓井)

組坂英昭 議員
 医療費削減による財政健全化
**問. 健康づくりで
 行財政改革を**
答. 健康づくりは行財政改革につながる

質 アンビシャス広場や子ども会等がサルビアパークのプールを利用するために、市のマイクロバスで送迎することはできないか。

松岡市長 プール利用者の増進を図るためにバス等での送迎を検討したこともあるが、サルビアパーク設立当時に、民間のスイミングスクールから、「サルビアパークは市民の健康増進施設であり、利益中心ではなく、民間のスイミングスクール等を圧迫することになるので、公的機関としては適当ではない」との指摘を受け、現在もバス等での送迎は行っていない。

質 健康づくりについて、担当課としてどのような事業を行なっているか。

大塚健康課長 保健師の指導による成人病の予防、年齢に応じた健康栄養指導を中心に事業を行なっている。

質 生活習慣病は一向に減少しないが、この原因はどこにあると思うか。

健康課長 食生活の欧米化が一因と思う。

質 嘉麻市の医療費の現状は。

山本市民課長 嘉麻市の約44%の方が国民健康保険に加入されており、この医療費は、平成15年度が9億4355万円、平成16年度が9億6101万円、平成17年度が10億47131万円である。

質 市の税収は。

棕本税務課長 平成18

質 アンビシャス広場や子ども会等がサルビアパークのプールを利用するために、市のマイクロバスで送迎することはできないか。

松岡市長 プール利用者の増進を図るためにバス等での送迎を検討したこともあるが、サルビアパーク設立当時に、民間のスイミングスクールから、「サルビアパークは市民の健康増進施設であり、利益中心ではなく、民間のスイミングスクール等を圧迫することになるので、公的機関としては適当ではない」との指摘を受け、現在もバス等での送迎は行っていない。

質 健康づくりについて、担当課としてどのような事業を行なっているか。

大塚健康課長 保健師の指導による成人病の予防、年齢に応じた健康栄養指導を中心に事業を行なっている。

質 生活習慣病は一向に減少しないが、この原因はどこにあると思うか。

健康課長 食生活の欧米化が一因と思う。

質 嘉麻市の医療費の現状は。

山本市民課長 嘉麻市の約44%の方が国民健康保険に加入されており、この医療費は、平成15年度が9億4355万円、平成16年度が9億6101万円、平成17年度が10億47131万円である。

質 市の税収は。

棕本税務課長 平成18



上臼井アンビシャス広場

豊 一馬 議員

問. 価値ある熊ヶ畑小学校の存続を図るべきだ!

答. 素晴らしい学校だ、存続する



豊 議員(山田)

質 嘉麻市長及び副市長の給与を10%削減する条例が提案されている。
給料10%の削減は、厳しい行財政改革へ向けて、市長が率先して改革の強い意志を表明されたものとしては、あまりにも削減幅が低いのではないかと。市長が率先して大胆な給与等の削減を実行するべきであると思うが。

質 複式学級等、小規模校のある周辺部は、合併によって一段と過疎化が進んでいることは過去の市町村合併が示しているところである。
熊ヶ畑小学校は、熊ヶ畑地域住民の精神的シンボルであり、地域活性化の源泉である。



熊ヶ畑小学校

松岡市長 嘉麻市将来のため、無報酬で市長として職務を遂行する気持ちは持っている。
質 嘉麻市内の小・中学校の学力は、どの程度の水準にあるのか、全国的にはどういう水準にあるのか、これまでの学力テストの結果が未公開であったため、各学校のおかれた教育実態が不明であった。
本年4月24日、40年ぶりに全国学力テストが行われるが、その結果については保護者、並びに議会等に公表され、学校教育の一助にすべきであると思うが、どのように考えているか。
山崎教育長 学力テストの結果は公表する方向で考えている。

また、学力の面でも長年優秀な実績を挙げている。
価値ある熊ヶ畑小学校の存続は、熊ヶ畑地域の住民にとって悲願である。
さらに、複式学級解消のため、菜園つき住宅建設地の無償提供を求めたい。
市長 熊ヶ畑小学校の存続は、熊ヶ畑地域住民の要望も強く、素晴らしい学校である。
熊ヶ畑小学校は存続すべきであると思う。菜園つきの分譲住宅地については、今後考えていく必要があると思う。

有吉春祁 議員

上山田財産区の土地貸付について
問. 災害等の防止策は

答. 財産区とも協議しながら対応したい



有吉議員(山田)

質 30000㎡以下で工事は完了したのか。
田中管財課長 逐次、現場を確認しているが、現在の状況は30000㎡以内の造成工事で終わっている。
質 今後、当初申請が出されていた8000㎡の造成工事まで進展するのか。
管財課長 30000㎡を超えると、土砂埋め

立て等の許可が必要となるため、土地所有者の方から30000㎡以内に契約を変更すると聞いている。
質 30000㎡を超えると県知事の許可が必要であり、県の「土砂埋め立て等による災害の防止に関する条例」には、「土砂埋め立て等について必要な規制を行うことにより、土砂埋め立て等に起因する災害の発生を未然に防止し、もって県民生活の安全に寄与することを目的とする」という規定がある。
先日、道路の下側にある工場に土砂が流れ込んだため、財産区長と共に口頭で抗議を行ったと聞いている。
地元住民は、土砂等による災害が発生することを一番心配しているが、市としてどのように対応するのか。
管財課長 地域住民から不安の声があることは承知しており、土地所有者に対し、地域住民の理解を得るための

説明会等を開催するよう意見を述べている。
今後、地域住民への説明会が計画されていると聞いているが、市としても、災害の発生を懸念しており、今後は財産区とも協議しながら対応していきたい。
質 18年度の定年退職者数及び勸奨による退職者数は。
坂口人事課長 定年退職者8名、勸奨による退職者19名、合計27名。内訳は、課長職以上9名、補佐4名、係長7名、一般職4名、技能労務職3名である。
要望 学校給食の問題については、給食費の滞納をこれ以上増やさないよう努力してもらいたい。



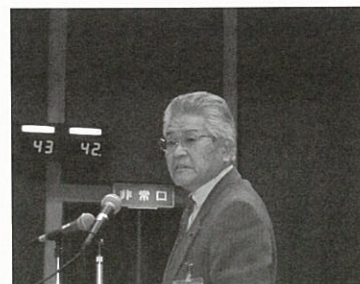
質 平成19年度の施政方針の序章で、地方公共団体においては、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立するため、徹底した行政改革を推進するとともに、歳出の徹底した見直しによる抑制と重点化を進め、また、歳入面でも自主財源について積極的に確保策を講じるなど、

鷹木公興 議員

19年度の施政方針について

問. 施政方針の具体的な内容について

答. 国が示す構造改革と三位一体改革に基づいている



鷹木議員(山田)

効果的で持続的な行政構造への転換を図ることが急務であると述べられているが、内容が抽象的で理解しがたいので具体的に説明して欲しい。
質 三方企画財政部長 国の構造改革の1点目は地方分権時代が進む中で、国と地方の関係は従来の上下主従から対等関係になり、自己決定、自己責任が地方自治体に求められるようになってきている。もう1点は三位一体改革で、国庫補助負担金の改革、税源移譲、地方交付税改革とあわせて、特に財政については地域間格差が拡大するような基調になっている。こういう背景を受け、本年度18億円程度の恒常的財源不足が発生することから5カ年の実施計画の中で、国の構造改革の背景をにらみながら、具体的削減目標を定め予算編成を行なうという指針を施政方針で市長が申し述べた。
質 三位一体構造改革

の件を言われたが、その中でも税源移譲については、地方に行けば行くほど地方財政を救ってくれるということにはなっていないことは明白だ。そこで提案だが、地方6団体等の力を結集して政府に対し地方自治体の現状を訴えたらどうかと思う。併せて国道322号線の八丁トンネルは既に測量に入っているそうだが、今後322号線早期開通についての市長の考えを聞きたい。松岡市長 指摘の点については、要望活動等を実施していく。八丁トンネルの件についても早期実現に向けて県等に要望活動を続けていく。



平田議員(嘉穂)

平田文宏 議員

遠賀川の清水を守るために

問. 合成洗剤を石けんに切り替える啓発は

答. 関係部署と協議し、対処したい

質 遠賀川の水質は、九州の1級河川でワーストワン、または2位と何回も報道されたが、担当課で把握している水質検査のデータは。鈴木環境課長 確井地区ではBOD濃度が0.5mg/lと基準値(3mg/l)以下ではあるが、大腸菌群数が7000MPN/100mlと基準値を超えている。飯塚市の鶴三緒付近では、BODが1mg/l、大腸菌群数が22、000MPN/100mlである。
質 河川汚染の原因は。環境課長 汚染の主な原因は生活排水等で、その中でも使用済み油や合成洗剤の排水が問題と考えられる。
質 BODの数値は、にがり分解の酸素量であり、この数値で判断し、汚染されているとは言えない。有害物質が別にあることは、琵琶湖の水で証明されていると思うが。環境課長 1977年に琵琶湖に赤潮が発生した原因として、家庭の雑排水など、その中でも合成洗剤に含まれるリン酸基への関心が高まり、地域住民が直ちに合成洗剤の使用をやめた粉石けんの利用運動を始めた。さらには合成洗剤の販売を禁止する琵琶湖条例が制定された結果、再び生物がよみがえったという事例である。

質 今、遠賀川には、合成洗剤で微生物が死にそうな下水路などから有機石けんを作る運動は全国に広がっているが、松岡市長 有機石けんの使用運動も今後充実させながら、遠賀川の水質浄化に努めたい。
質 今、市役所や学校等で使っている洗剤は。環境課長 市販の合成洗剤を使っているが、今後協議し対処したい。
質 水質浄化のためには、合併浄化槽の普及が大切であるが、市としての施策は。環境課長 奨励補助金として161件分を予定している。
質 救急車適正配置を。田中助役 消防署へ見直しを要望している。



緑豊かな遠賀川流域

岩橋岩雄 議員

問. 災害時の市営住宅入居について

答. 優先的に入居させる方針だ



岩橋議員(稲築)

質 台風や地震又は火災等で家をなくしたり半壊したりした時に、緊急に市営住宅の入居をお願いする方がいると思うが、災害の時の入居はどうなっているのか。

質 台風や地震又は火災等で家をなくしたり半壊したりした時に、緊急に市営住宅の入居をお願いする方がいると思うが、災害の時の入居はどうなっているのか。



小舟池



城 議員(嘉穂)

質 この平らなところに桜などの樹木を植えて欲しいという要望があるが、このことについて計画等があれば聞きたい。

また、公園は親子で遊んだり楽しんだりするところだと思いが、最近犬のふんで環境も悪くなっている。マナーを守る看板等

人道的な立場で優先的に入居させるように答弁があり、担当課の方もある方針である。

質 稲築平地区の小舟池歩道について、今度新しく歩道ができ、3月初めから通行ができるようになった。池の周辺で約1km、公園を廻ると2kmほど歩くことができる。景観の良い立派なものだ。市民も行政も一緒になつて気持ち良い散歩道を長く保つていきたいと考えている。池の一部に平らなところがあり、以前は桜などの大きな木があったが、前工事のときに切つてしまった。

この設置についてはどうか。中並土木課長 ゴミやペットのふんの放置は基本的に利用者や飼い主のモラルの問題だと思いが、現在ゴミに関する啓発看板を6カ所、ペットのふんに関する啓発看板を4カ所設置している。また、植樹については今回桜の木を植樹しようと考えている。周りにも植樹を考えており、あわせてそこでくつろげるベンチを8基設置することになっている。

質 公園内に街灯設置の計画はあるか。

土木課長 財政的にたくさん設置することは難しいが、少しずつ設置することを検討していく。

城 貞子 議員

問. 不法行為による土地開発は

答. 嘉麻市で引き続き指導する

質 泉河内檜畑開発は、昨年9月議会で質問されたが、この件について再度確認する。

平成17年当時、サーキット場が計画されている場所で土地改良がなされていることに気づき、大府行政区の方が農業委員会に情報開示を求めたが、不開示という通知を受けている。その後、不服申し立て



いっぱん質問

質 前議会でも質問したバイオディーゼルの料の取り組みや市内の食用廃油の調査状況は。鈴木環境課長 市内の授産施設の方から取り組みの申し出があり、自立支援の意味からも協力し、推進を図りたいとのこと。

食 食用廃油は市内で月に約2千リットル出る見込みであり、嘉麻市はディーゼル車を43台保有し、

荒木 議員 バイオディーゼル燃料の取り組みについて 問. 調査、検討の状況は

答. 市内授産施設から申し出があり推進を図りたい



荒木議員(稲築)

質 生涯学習としての取り組みは。松岡生涯学習課長 子ども会、青少年住民会議等の団体の指導者の方々と様々な検討をしたい。要望 生涯学習と学校教育とが一緒になって取り組んで欲しい。

質 合併して稲築地区の図書館は人口に対する蔵書数の少なさとスペースの狭さに気づいた。生涯学習センターの計

月に2千リットル使用、軽油代は2万1500円支出している。

質 菜の花プロジェクトの進展は。原田農政課長 景観性や農地の活用の中でも重要な問題。生産コストの問題等もあるので、農家や農協、県等と協議を十分する必要がある。

質 いじめの原点になっている言葉の教育の今後の対応は。山崎教育長 言葉の教育は心の教育の大きな柱となると考えている。国語や道徳、学校生活、家庭生活の中でも重要な課題として今後研究をし、校長会等に提案していく。



ディーゼル車(公用車)

画が見送りになっているが、それでも空き庁舎の有効利用に望みを託している。稲築地区の図書館は、小さな書庫ではあるが、図書館を起点に様々なグループが生まれ、子育て支援をはじめ、幼児から高齢者のふれあいの場の発信地にもなっている。拡充のため住民から要望書が提出され、署名活動も行なわれている。稲築地区の図書館の拡充について市長の考えは。松岡市長 先般、多くの方が要望活動に見え、ボランティア面も含めてその熱意に打たれている。財政担当とも十分相談しながら前進的な取り組みを約束する。

1年間ありがとうございました

昨年(2011年)3月27日、1市3町が合併し、嘉麻市が誕生して約1年が経過しました。

この1年間、64人の議員が、それぞれの自治体の歴史や伝統や地域の特性を踏まえながら、嘉麻市の基礎づくりに邁進し、総合計画の策定や過疎計画の策定をはじめ、一定の成果を上げてきました。

しかしその反面、合併前に予想された以上に厳しい財政状況で、住民の皆さまにはご不便とご負担をおかけし、非常に心苦しく思っています。

改選後は、26人の議員がさらなる自覚のもと、辛くてもその責務を果たし、嘉麻市の明るい未来のために取り組んでくれるものと確信しています。

嘉麻市の発展と市民の皆さまのご清栄を祈念いたしまして、ごあいさつの言葉にかえさせていただきます。

「ほんとうに、1年間ありがとうございました。」

嘉麻市議会

議長 大谷 清人

第一期広報委員会最後の編集

議員の任期満了にともない、第一期の議会広報編集特別委員会での編集はこの4号が最後となりました。

合併1年目ということで、掲載内容や手法など、ほとんど模索状態での編集作業となり、満足いただける内容ではなかったかと思えます。

改選後は、新たな広報委員会でのさらなる研究による議会だよりが届けられると思えます。今後、議会だよりをおして、市政への関心を持っていただき、まちづくりへの協力と参画をお願いいたします。

約1年間でしたが、ご愛読ありがとうございました。

議会広報委員長 熊本 伴



第一期の議会広報編集特別委員



予算チェックシート

メモ

今回の議会だより4号では、19年度の予算額を掲載していません。(2～3P)
 今後毎号、この予算の補正など経過を掲載しますので、決算までの予算変動を記録してみてください。

19年度予算

	当初予算額(H19)	6月補正額(H19)	9月補正額(H19)	12月補正額(H19)	3月補正額(H20)	9月決算額(H20)
一般会計	243億7,714万7千円					
(増減)	—					
国民健康保険特別会計	60億7,283万2千円					
(増減)	—					
老人保健特別会計	67億5,776万9千円					
(増減)	—					
住宅新築資金等貸付特別会計	1億3,625万3千円					
(増減)	—					
介護保険事業特別会計	46億2,693万7千円					
(増減)	—					
水道事業会計	10億1,026万円					
(増減)	—					
予算総額	429億8,119万8千円					
(増減)	—					